

No.	区分	機能	概要	詳細
1	機能改善	モバイルアプリ	モバイルブラウザ版と連携、アプリから使用できる機能を大幅追加	モバイルアプリから設備予約が利用できるようになりました。
2				モバイルアプリから回覧・レポートが利用できるようになりました。
3				モバイルアプリからウェブメールが利用できるようになりました。
4				モバイルアプリからウェブメールIMAPが利用できるようになりました。
5				モバイルアプリからToDoが利用できるようになりました。
6				モバイルアプリから伝言所在が利用できるようになりました。
7				モバイルアプリからアドレス帳が利用できるようになりました。
8				モバイルアプリからメモパッドが利用できるようになりました。
9				モバイルアプリからキャビネットが利用できるようになりました。
10				モバイルアプリから安否確認が利用できるようになりました。
11	機能改善	モバイルアプリ	新着を知らせるプッシュ通知の範囲を拡大 アプリごとにプッシュ通知を受け取るかどうかは、モバイルアプリのメニュー>アプリ設定>通知対象設定から設定できます。	モバイルアプリで回覧・レポートの新しい回覧が届いたときにプッシュ通知を受け取れるようになりました。
12				モバイルアプリでウェブメールの新着メールが届いたとき（自動受信中の個人アカウントのみ）にプッシュ通知を受け取れるようになりました。
13				モバイルアプリで伝言所在の伝言が追加・変更されたときにプッシュ通知を受け取れるようになりました。
14				モバイルアプリで安否確認メールが届いたとき、管理者からのお知らせがあったときにプッシュ通知を受け取れるようになりました。
15				モバイルアプリでToDoのタスクが追加・変更されたときにプッシュ通知を受け取れるようになりました。
16				モバイルアプリでアラームが送信されたときにプッシュ通知を受け取れるようになりました。
17	機能改善	モバイルアプリ・ブラウザ版	回覧・レポートの新規作成が可能に	モバイルアプリおよびモバイルブラウザ版から、回覧・レポートを作成して送信できるようになりました。画面下部にある新規作成ボタンから回覧・レポートを作成できます。
18	新機能	スケジュール 設備予約	Teams連携：スケジュールから Teams会議の作成・参加が可能に	Microsoft Teamsとの連携に対応しました。 Microsoft 365連携を行っているユーザーが、desknet's NEOのスケジュール上からTeams会議への参加が行えるようになります。
19	新機能	スケジュール 設備予約	選択予定表示：メンバーの予定と設備の空きを同時に確認・調整	便利な機能「選択ユーザー予定表示」を拡張し、メンバーの予定と設備の空きを同時に確認・調整できるようになりました。使い慣れたスケジュールの1日表示・週間表示の上で、空き時間を効率的に見つけられるようになります。
20	機能改善	スケジュール 設備予約	週間カレンダーの開始曜日を固定可能に	スケジュールの個人・組織週間表示および設備予約の設備・設備群週間表示において、カレンダーの開始曜日を固定できるようになりました。初期設定の「現在日」から特定の曜日に変更することで、週間カレンダーが常にその曜日から表示されるようになります。（表示週の移動は1週間単位のみになります）
21	機能改善	スケジュール 設備予約	月間カレンダーが6週表示に対応	スケジュールの個人月間表示および設備予約の設備月間表示において、表示月の週が5週以下だった場合に、翌月の週表示を加え6週間固定で表示できます。（6週表示を有効にすると、desknet's NEOの年間カレンダー、サブウィンドウのカレンダー、モバイルアプリの月間カレンダーも6週表示されるようになります）

22	機能改善	スケジュール 設備予約	予定の重複チェック時、時間未設定の 予定を無視する設定を追加	「予定登録時の時間重複通知」を「表示する」に設定している場合に、開始時間または終了時間を設定していない予定は重複チェックの対象外とする設定を追加しました。これとあわせ、「個人設定>表示設定」画面にあった「予定登録時の時間重複通知」設定が「基本設定>予定の重複登録設定」画面に移動しています。
23	機能改善	スケジュール 設備予約	定期・不定期予定を変更・削除する際 の初期選択を「その日のみ」に変更	定期・不定期予定を変更・削除する際に表示される確認ダイアログにおいて、「変更対象」の初期選択を「すべての予定」から「その日の予定のみ」に変更しました。定期・不定期予定の一部を変更・削除する際に、誤ってすべての予定を変更・削除してしまうミスを軽減できます。
24	機能改善	スケジュール 設備予約	ドラッグ&ドロップによる予定変更を 制限	ドラッグ&ドロップによる予定の変更（開始時間・終了時間の変更および日付の変更）を利用するかどうかを設定できるようになりました。「利用しない」に設定した場合、モバイルアプリでもドラッグ&ドロップによる変更が制限されます。
25	機能改善	設備予約	時間を指定しない予定の追加を制限可 能に	設備を予約する際、日付のみ指定して時間を指定しない予定の追加を制限できるようになりました。
26	新機能	ウェブメール (POP)	自動応答：メールの自動応答（パケ ーションリプライ）に対応	メールの自動応答に対応しました。 自動応答する期間と条件（CC/BCCで受信したメールには自動応答しない、同じメールアドレスには1日1回しか自動応答しない、指定したメールアドレス/ドメインからのメールには自動応答しない）・件名・内容を設定することで、指期間中メールを自動受信したタイミングで自動応答が行われます。 送信済みメールを保存する設定を行っている場合、自動応答したメールは送信トレイに保存されます。
27	機能改善	ウェブメール (POP)	その他改善	Outlook/Gmail等から送られる予定の参加確認メールなど、カレンダー形式（Content-Type: text/calendar）のメールを表示できるようになりました。 送信された予定に対して承諾・仮承諾・辞退が行えるようになります。
28	機能改善	ウェブメール (POP/IMAP)	その他改善	不正なフォーマットを持ったHTMLメール（本文中にbodyタグが複数存在する）を表示できるようになりました。
29	新機能	回覧・レポート	ウォッチリスト：確認済みにした後も コメントをチェックできる	届いた回覧・レポートを「確認済み」にした後も引き続き他のユーザーからの新着コメントを確認できる「ウォッチリスト」機能を追加しました。回覧・レポートの詳細画面上部に追加された「ウォッチリスト」リンクを押すと、その回覧・レポートが「ウォッチリスト」フォルダに格納されます。 ウォッチリストに追加した回覧・レポートに新しいコメントが追加されると、ネオツイにお知らせが届きます。「ウォッチリスト」フォルダを開くと、未読コメントがある回覧・レポートが「未読（太字）」で表示されます。
30	機能改善	回覧・レポート	通知先が回覧・レポートを開封したか どうかの「既読状態」を表示	回覧・レポートの通知先に指定されたユーザーそれぞれに対して、「この回覧・レポートを開封したかどうか」を表す「既読状態」の表示を追加しました。 既読状態を確認することで、相手がそもそも内容を見ていないのか、それとも回答を保留しているのかを見分けられるようになります。 既読状態の表示は、管理者側で回覧・レポートの作成者のみ既読状態を表示するか、もしくは通知先全員に既読状態を表示するかを選択できます。
31	機能改善	回覧・レポート	添付ファイルの一括ダウンロードに 対応	自身が作成した回覧・レポートに添付したファイル、またそのコメントに添付されたファイルをzip形式で一括ダウンロードできるようになりました。コメントに添付されたファイルは、作成者の氏名と日時でフォルダ分けされ、誰のコメントに添付されたものなのかが直感的にわかります。
32	機能改善	回覧・レポート	回覧・レポートの詳細にも締切日と猶 予日数の表示	回覧・レポートの詳細画面に、締切日と猶予日数の表示を追加しました。
33	機能改善	回覧・レポート	ネオツイお知らせ通知のカスタマイズ	ネオツイのお知らせ通知設定にて、回覧・レポートの状態に応じたお知らせ表示をカスタマイズできるようになりました。 例えば新しく届いた回覧・レポートについて、これまでは開封するとお知らせが消えていましたが、設定により自身がコメントを登録するか「確認済み」にするまで表示を残しておくことができるようになります。
34	機能改善	回覧・レポート	通知先設定のインポート・エクス ポートに対応	回覧・レポートをよく送る相手をグループ化しておける「通知先」について、CSV形式でのエクスポートとインポートが行えるようになりました。 エクスポートした通知先データを他のユーザーに共有する場合、事前にCSVファイル内の「ID（システムID：自動発番）」をすべて「0」に更新する（通知先の上書きではなく追加）必要がある点にご注意ください。

35	機能改善	インフォメーション	インフォメーション変更時、全員の既読状態を未読に戻せるように	公開したインフォメーションの内容を変更する際に、すべての閲覧先の既読状態を「未読」に戻せるようになりました。変更した内容をすべての閲覧先に確認させたいときに利用できます。
36	機能改善	インフォメーション	新規作成時に初期設定する表示期間を調整可能に	新しいインフォメーションを作成する際に初期設定される「表示期間」の初期値を調整できるようになりました。 これまでは「作成した日から1ヶ月」が標準でしたが、初期値を設定することで「作成した日から～ヶ月または～日間」および「表示開始・終了時間」を反映できるようになります。「複写して作成」時にこの設定を使用するかどうかも選択できます。
37	機能改善	文書管理	文書の所有者による文書削除を制限可能に	文書の誤削除対策の一環として、文書の所有者（文書を作成した、また最後に文書を編集したユーザー）に対して、文書の削除を許可しない設定ができるようになりました。 所有者による文書の削除を許可しない場合、アクセス権に「削除」権限が割り当てられているユーザー/ロールのみが文書の削除を行えます。
38	機能改善	文書管理	文書の削除確認メッセージに確認用チェックボックスを追加	文書の誤削除対策の一環として、文書を削除する際の確認メッセージに警告文と確認用のチェックボックスを追加しました。 管理者側で確認用のチェックボックスを非表示にすることもできます。
39	機能改善	ポータル	組織ポータル切り替えの操作性を向上	多数の組織ポータルが登録され、ポータル画面の表示幅に収まらない場合に、マウスのドラッグ操作で左右にスクロールできるようになったほか、左右に表示されるナビゲーションについてもスクロール量と速度を調整しました。
40	機能改善	ポータル	「ワークフロー：作成分（申請中）」コンテンツを追加	ワークフローの「作成分（申請中）」の一覧から表示できる、自分が作成してまだ決裁処理が完了していない申請の一覧をポータルに追加できるようになりました。
41	機能改善	ポータル	「回覧・レポート」系コンテンツで「未読・既読」の表示を切り替え	「回覧・レポート（新着/未確認）」および「回覧・レポート（ウォッチリスト）」コンテンツで、未読のみ/既読のみに絞り込んで表示できるようになりました。
42	機能改善	アンケート	送信先設定のインポート・エクスポートに対応	アンケートをよく送る相手をグループ化しておける「送信先」について、CSV形式でのエクスポートとインポートが行えるようになりました。 エクスポートした送信先データを他のユーザーに共有する場合、事前にCSVファイル内の「ID（システムID：自動発番）」をすべて「0」に更新する（送信先の上書きではなく追加）必要がある点にご注意ください。
43	機能改善	アンケート	新規作成時に初期表示される回答期間を調整可能に	新しいアンケートを作成する際に初期設定される「回答期間」の初期値を調整できるようになりました。 これまでは「作成した日から1ヶ月」が標準でしたが、初期値を設定することで「作成した日から～ヶ月または～日間」を反映できるようになります。
44	機能改善	ToDo	タスクの「複写して追加」に対応	作成されたタスクの内容を複写して、新たなタスクとして追加できるようになりました。
45	機能改善	ToDo	「通知の方法」の初期値を設定可能に	タスクを追加・変更する際の「通知の方法」設定の初期値を設定できるようになりました。
46	機能改善	電子会議室	トピック名・匿名オプションの変更に 対応	作成したトピックのトピック名および匿名オプションを後から変更できるようになりました。（会議室の設定でトピックの変更を許可する必要があります）
47	機能改善	共通	日付選択ダイアログに祝日を反映	スケジュールやインフォメーションなど、各機能で「日付」を入力する際に使用される日付選択ダイアログに、祝日の表示を追加しました。
48	機能改善	共通	言語に「English (US)」を選んだ際の時刻の形式を設定可能に	言語に「English (US)」を選んだ際の日付書式について、時刻の書式まで設定できるようになりました。 「mm/dd/yyyy h:mm AM/PM」形式、「dd/mm/yyyy h:mm AM/PM」形式、「dd/mm/yyyy hh:mm」形式から選択できます。 これとあわせ、管理者設定のユーザー管理からも日付/時刻書式を設定できるようになりました。
49	機能改善	管理者設定	その他改善点	ルールを削除するボタンの名称を「削除」から「ルールを削除」に変更しました。
50	機能改善	管理者設定	その他改善点	管理者設定＞システムログのダウンロードから、サポート時に必要となるシステムログをダウンロードできるようになりました。
51	機能改善	AppSuite	表部品・参照データ部品：デザインの柔軟性を向上	見出し行を非表示にできるようになりました。

52			枠線の色・太さが表の罫線にも反映されるようになりました。
53			セル内側の余白を設定できるようになりました。
54			データ行の高さを設定（固定）できるようになりました。
55			データ行の背景色を設定できるようになりました。
56			データ行の部品ごとにフォントを設定できるようになりました。
57			セル内のテキスト表示位置を設定できるようになりました。
58			参照データ部品でも添付ファイルをサムネイル表示可能になりました。
59			縦スクロールバー表示用に用意されていた余白に常時スクロールバーが表示されるよう変更しました。
60	機能改善	AppSuite	表部品・参照データ部品：画面デザインから直接部品をカスタマイズ 画面デザインに配置された表部品および参照データ部品を選択すると、それぞれの部品の見出しに歯車アイコンが表示され、そこから直接それぞれの部品のカスタマイズを行えるようになりました。 表・参照データ部品内の設定を確認・変更するたび、詳細設定ダイアログを開く煩わしさがなくなります。
61	機能改善	AppSuite	自動計算部品：文字列置換・営業日計算・日付の和暦変換などに対応 SUBSTITUTE関数を追加：文字列を置換した結果を返します。
62			WORKDAY関数を追加：日付に対して営業日を加減算します。
63			NETWORKDAYS関数を追加：2つの日付の間の営業日数を算出します。
64			DATE_FORMAT関数を拡張：以下フォーマットが追加されます。 ・和暦の元号（例：令和、令、R） ・和暦の年（1を元と表記） ・アルファベット表記の月（January、Jan） ・曜日（土曜日、土）
65			DATETIME_FORMAT関数を拡張：以下フォーマットが追加されます。 ・午前、午後
66			VALUE_OF_MAX関数を追加：表・参照データ部品で最大値を持つ列の値を取得します。
67			VALUE_OF_MIN関数を追加：表・参照データ部品で最小値を持つ列の値を取得します。
68	機能改善	AppSuite	日付・日時・時刻部品：分の入力単位が設定可能に 日時・時刻部品において、入力する「分」の単位を「1分単位」「5分単位」「10分単位」「15分単位」「30分単位」「60分単位」から選択できるようになりました。
69	機能改善	AppSuite	集計を開いたユーザーごとに異なる集計結果を表示可能に これまでは「集計を作成したユーザーから参照できるデータの集計」しか作成・共有できませんでしたが、新たに「ログインユーザー（集計を開いたユーザー）から参照できるデータの集計」を作成・共有できるようになりました。 1.集計の集計者に「ログインユーザー」を設定する 集計オプションに「集計者」設定を追加しました。 「集計者」に「ログインユーザー」を設定することで、その集計を表示したユーザーが参照できるデータのみを対象に集計を行うことができます。また「集計者」に「個別に指定」を設定して特定のユーザーを指定した場合は、特定のユーザーが参照できるデータのみが集計対象になります。 「集計者」設定の追加とあわせ、新しい集計を作成・保存した際の標準の「集計者」を「集計を作成したユーザー」から「ログインユーザー」に変更しています。
70			2. 集計範囲の絞り込み条件に「ログインユーザー」を設定する 集計範囲の絞り込み条件として、ユーザー部品に対して「ログインユーザー」を選択できるようになりました。 特定のユーザー部品に対して「ログインユーザー」を設定することで、その集計を表示したユーザーがその部品に含まれるデータのみを対象に集計を行うことができます。

71	機能改善	AppSuite	予定の自動登録：データ追加・変更時にスケジュール機能に予定を追加	アプリにデータが追加・変更されたタイミングで、ユーザーまたは組織のスケジュールに予定を追加できるようになりました。 アプリの部品に入力された値をもとに予定の登録先・期間・タイトル・内容・オプションを割り当て、新しい予定を追加することができます。 予定の自動追加を行う場合、期間として使用する日付・日時・時刻部品の「入力時間単位」とスケジュール機能の共通設定にある「入力時間単位」の設定を揃える必要があります。
72	機能改善	AppSuite	Webhook：データ追加・変更時に外部システムにデータ連携	アプリにデータが追加・変更されたタイミングで、自動的に外部のシステム・サービスに対してHTTP/HTTPSによるデータの連携（Webhook）が行えるようになりました。
73	機能改善	AppSuite	表部品の値の複写：データ追加・変更時に表部品の内容をまるごと複写	アプリにデータが追加・変更されたタイミングで、表部品に入力されている内容を別アプリの表部品内にまるごと複写できるようになりました。
74	機能改善	AppSuite	データの削除：データ追加・変更時に自/他アプリのデータを削除	アプリにデータが追加・変更されたタイミングで、自/他アプリのデータを削除できるようになりました。
75	機能改善	AppSuite	複数データの更新：データ追加・変更時に複数データの同時更新が可能に	アプリにデータが追加・変更されたタイミングでデータの更新を行う場合の「変更対象のデータを特定する条件」として、値の重複が禁止されていない部品も選択できるようになりました。 これにより、これまでは「条件に合致する1件のデータ」しか更新できませんでしたが、「条件に合致する複数件のデータ」も更新できるようになります。 （自動処理で更新できるデータは最大100件までに制限されます）
76	機能改善	AppSuite	確認メッセージ：保存前に「本当に保存してよいかどうか」を確認	入力チェック機能を拡張。データを追加・変更する際に、入力内容の組み合わせが「エラーではないが念のため確認しておきたい」場合に、このまま保存してよいかどうかを「はい」「いいえ」で回答させる確認メッセージを表示できるようになりました。
77	機能改善	AppSuite	「新規追加」「複写して追加」「追加」のボタン名を任意に変更	作成したアプリの一覧画面で使用される「新規追加」ボタン、一覧・入力画面で使用される「複写して追加」ボタン、データの編集画面で使用される「追加」ボタンについて、それぞれ任意のボタン名に変更できるようになりました。
78	機能改善	AppSuite	エラーログ：インターフェース改善、詳細画面の追加	アプリ内で発生したエラーの履歴を確認できるエラーログ画面について、インターフェースの改善を行いました。エラーが一覧で表示され、それぞれのエラーに対してダイアログで詳細を確認できます。
79	機能改善	AppSuite	ヘルプボタンプラグイン：任意のメッセージ・画像を吹き出し表示	入力・編集画面内から、任意のメッセージ・画像を吹き出しで表示できるプラグインを追加しました。 アプリの使い方や入力方法、注意点などを、画面スペースを占有せずに加えることができます。
80	機能改善	AppSuite	手書きプラグイン：直線・四角・丸の描画とクリップボード貼り付けに対応	手書きプラグインで直線・四角・丸の描画に対応したほか、クリップボードからの画像の貼り付けにも対応しました。